臨時号[2011年10月発行]

編集発行/北翔大学同窓会事務局 〒069-8511 江別市文京台23番地 TEL&FAX (011) 387-1019 (直通) E-mail:shukusui@hokusho-u.ac.jp HP:http://www.syukusuikai.com

### 福島のこども達の笑顔から、私達は勇気と元気をもらいました。

北翔大学同窓会淑萃会 会長 伊藤 みどり

### 東日本大震災災害復興支援プログラムの報告

本学において、去る8月15日~22日までの8日間、福島県南相馬市の親子 25名(中には避難所で暮らしているおじいちゃんとお孫さんが2組、お友達同 士で4人と形態は様々)の参加を持ち「**夏休み北海道リフレッシュプログラム**」 を実施しました。北翔大学が企画運営をし、同窓会が資金を提供する形となり ました。同窓会では今年度開かれる総会の費用として140万円を計上していま したが、東北の多くの方々が苦しんでいる今、このようなお金の使い方で本当

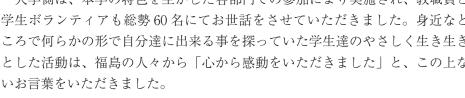
歓迎会で挨拶をする高田君

に良いのかと見直しをしました。

結果、被災地支援に充てる事が会員全員の同意が

得られるものとし、今回の支援プログラムに至りました。福島出身で本学卒業 生の高田慎吾君の紹介で南相馬市教育委員会を窓口として募集をしました。

大学側は、本学の特色を生かした各部門での参加により実施され、教職員と 学生ボランティアも総勢 60 名にてお世話をさせていただきました。身近なと ころで何らかの形で自分達に出来る事を探っていた学生達のやさしく生き生き とした活動は、福島の人々から「心から感動をいただきました」と、この上な いお言葉をいただきました。



別れの日は送る方も送られる方も涙の別れとなりました。

また、不自由な福島での生活に戻ってしまうかと思うと子供たちの涙が、来 年も何としてでも来てもらいたいと思わずにはいられませんでした。

そしてもう一つ私達が被災地を想う心が江別市民にも広がり、心を寄せてく れた事はとても嬉しいことでした。商工会議所、農家さんからは野菜が、町村

盆踊り会場にて 農場から牛乳が毎日届けられました。

多くの方々のご好意・ご協力に心よりお礼申し上げます。

また、8月26日~29日までの4日間の日程で「東北災害復興ボランティアツアー」を実施しました。 同窓会では学生達を支援するために寄付金を募集しました。様々な体験をしてもらい自立した社会に役立 つ人材を育成して欲しいとの想いで集まったお金を費用に充てました。40名の募集はアッという間に埋ま

りキャンセル待ちが出るほどの反応に感激をしました。後輩達の心がこん なに熱く強いものであるならば応援のし甲斐があるもの。感謝、感謝です。 大学のバスをしたてて行先は宮城県亘理郡山元町と石巻市、2日間とも線路 側溝の泥の掻き出しと民家一階部分床下の泥出し。暑く、キツイ、臭い泥 出し作業に参加者全員が真剣に取り組み、「本当に行って良かったです」と 目を輝かせて言ってくれました。「5カ月経った被災地の街は死んでいまし た。何をどうすれば良いのでしょうか。」と、多感な学生達の心に多くのも のを刻んだようです。



東北に向けて出発





## 夏休み北海道リフレッシュプログラム

総会費用を使って

大学と淑萃会では、福島県の多くの児童が、福島第一原子力発電所の事故の影響により、屋外での 活動が制限されるなど不自由な生活を強いられている状況を深く憂慮し、被災児童へ夏休み中に涼 しく安全な北海道でのびのびと過ごす一時をご提供するため、大学へ招待するプログラムを実施し ました。

### 平成 23 年 8 月 14 日(日)~8 月 23 日(火)

	日付	プログラム	
ſ	14(日)	仙台港出港	
	15(月)	大学到着 歓迎会・オリエンテーション スポーツ体験 江別市盆踊り大会参	加
	16(火)	青少年科学館見学 サンピアザ水族館見学温泉 花火	
	17(水)	スポーツ体験 札幌市内見学 テレビ塔見学 白い恋人パーク見学	
ſ	18(木)	旭山動物園見学 宿泊は	:雅1
	19(金)	陶芸体験 江別市長表敬訪問 レンガエ場見学 温泉	
	20(土)	プール 宿題・自由研究 花火	Г
	21(日)	北海道開拓の村見学 宿題・自由研究 温泉	
	22(月)	スポーツ体験 サヨナラ・パーティ ヨサコイ演舞 大学出発	1
	23(火)	仙台港到着	7











宿泊は雅館で









### 心に寄り添うこと

芸術メディア学科 4年 能和 暁

震災後、現地から発信される情報を自分で集めれる範囲で心に留めながら、無力さを感じる日々が続きました。僕に出来ることは無いのです。それを自覚することが、僕の出発点です。

不可能なことでも近づいていこうと、出来ることをしながら「見る」 ことをしていこうと思い、リフレッシュプログラムと、宮城でのボラ ンティアに参加してきました。

リフレッシュプログラムでは、子どもたちの付き添いというような 形で寝泊まりも一緒にして一日中一緒にいるような感じでした。最終 日に帰宅準備の時間を頂いて子どもたちと一緒に駐車場で絵を描きま した。一台分の駐車場スペースにパズルのピースを15ピース描き、 好きなピースを子どもたちが選んでチョークで描くというようなもの です。テーマはなく、自由に描いてもらうだけのものでしたが、ほと んどの子がピースのなかに「ありがとう」と描きました。それを見て

一緒に付き添っていた学生が泣いていました(笑)。その学生も無力さに思い悩みながらも リフレッシュプログラムに参加し、子どもたちと触れ合うことで感じるものがあったのだと 思います。子どもたちと友達のように向き合う姿勢を持つ、人と触れ合うのが上手な学生で す。ピースを描く時も手伝ってくれました。

実は、絵を描き始める前に福島で教員をしている保護者の方に相談している時に無力感を感じていることも打ち明けてしまいました。ボランティアの方はこんなことぐらいしかできなくて、とよく言うそうです。また、あるボランティアの女性が辺り一面がれきのところを目の当たりにして、こんな小さながれきを運ぶことしか出来ないことに無力さを感じ、悩んでいたそうです。でも、なにか小さながれきを拾うことからも復興に近づくきっかけになるし、その拾おうとしたりするように自分に出来ることをしようとする心が復興に繋がると信





子どもたちから 絵のプレゼント



能和君(左)と子どもだち

じている。そして、その心に感謝していて、生活が安定したらどこかで恩返しがしたいという話をしてくれました。 僕は、がれきを拾うこと、泥かきをすることというような何か自分の出来る範囲のことをすること、またその心の 一つ一つが大きなことなのだと実感しました。子どもたちと触れ合うなかでも、僕がしたことを、自分が思ってい るよりも大事に思ってくれていたり、自分が思っているよりも大きくなっていることが嬉しく、励みになります。

震災後から、尊敬する年上の絵描きとメールのやり取りをしていて、心に留めること、心に寄り添うこと、そして、 無名の行いが必要になることを学びました。僕はこれに参加するまで心に寄り添うことが自分勝手な動きのように 思えていました。少なくとも僕が動いたらそうなるように感じていました。教育実習に行く前の模擬授業のように 相手を想像できていなかったのです。でも、ちゃんと心に寄り添うことができたなら一方的なものではなく相互的 な作用が働くものなのかなと思います。そういう風に続けていけたらと思います。とても良い出会いになりました。

# がんばろう、東北!

## 復興ボランティアツアー

— 皆様からの寄付金を使って -

2011年8月26日午後4時15分に、学生39名、 引率教員1名が東北に向けて大学を出発しま した。

一同は、8月27日と28日に宮城県亘理郡山 元町と同石巻市の災害ボランティアセンターに 登録し、主に泥のかき出しを5人でチームを作 り汗だくになり頑張りました。





山元町住宅横の側溝の清掃



お疲れ



壊れた車や瓦礫が山積み



石巻市沿岸部民間アパート 1 階の清掃

### 北翔大学のみなさんへ

### いっぱいの元気を ありがとうございました。



大甕小学校教諭 村田恭

北海道での十日間は、本当に夢のような日々でした。こちらに もどっての2・3日は、とてもつらい日でした。学生ボランティ アの3名(中山君・米谷君・能和君)には、とても感謝しており ます。また、千羽鶴の写真と、子ども達の感想を同封しました。 皆さんによろしくお伝えいただければ幸いです。

子ども達は、八沢校ユニットハウスに移動して学習を続けてい ます。早ければ、10月上旬には、元の学校にもどる準備をして います。

末筆ながら皆様のご健勝をお祈り致します。

美幸・愛美の母

江別市の皆さん、大学の先生方、大学生の皆さん、福島の子供 達を暖かく受け入れてくれて、有り難うございました。十日間大 変お世話になりました。

今の福島では、出来ない事がたくさんあるのですが、思いっき り外で遊べる事プールに入れる事、マスクなしで外に出れる事、 新鮮な空気を吸える事など、子供達にとって良い経験が出来まし た。有り難うございました。

また、子供達から笑顔を取り戻してくれて有り難うございまし

勉強も教えてくれて有り難うございました。

先生方、大学生の皆さんの優しさが子供達も嬉しかったようで す。別れるのもすごく辛かったと言ってました。また、皆さんに 会いたいと言ってます。

素晴らしい思い出を作ってくださってとても有り難かったで

またこの様な企画で皆さんに会えるのを楽しみにしてます。 江別市の市長さん、大学の先生方、大学生の皆さん有り難うござ いました。感謝の気持ちでいっぱいです。

お世話になりました。

おみやげ、たくさん頂いて有り難うございました。 皆さんの優しさは、一生忘れません。



北翔大学様へ

南相馬市立高平小学校6年 三浦樹音

今回の夏休みに「北翔大学・夏休み北海道リフレッシュ プログラム」を企画していただき本当にうれしかったです。 私は、北海道が初めてでした。私は、北海道のことを良く 知ることができました。金麦が有名だということもレンガ 工場も数件しかないこともよく知りました。勉強してる時 に北海道のキャラクターのえべチュンが来た時も金麦のこ とを教えてくれました。私は、北海道の企画がすべて楽し かったです。子供盆おどり大会・レンガ工場・白い恋人パ ーク・スポーツ体験・開拓の村・旭山動物園・陶芸体験・ プール・勉強・テレビ塔などとても豪華な企画でした。そ れにみなさん1人1人がとてもやさしくて大学生の男性も 大人もかっこいい&やさしいし女性の方は、みんな美人& やさしい&おもしろいのでとても楽しかったです。もちろ ん運動のお姉さんも美人でした。今までで一番リフレッシ ュできた思い出でした。福島に戻って学校に行く時は、か ならずマスクでとても暑いです。学校は、仮設教室で勉強 しています。でも元気にがんばります。

「大学行くなら北翔大学!」

一来年も福島のこども達に来てもらいたい一

### 寄付金のお願い

余 額

- 口 2.000円(何口でも可)

目標金額

各年度 100万円

期

皆様のお心をいただけるまで

同封の振り込み用紙を使用して下さい。

[本学卒業生]

高田恒吾

[南相馬市教育委員会]

[江別市]

[江別市商工会議所]

[江別商店街振興組合連合会]

[(社)札幌東法人会江別支部] [札幌東関税会江別支部]

[江別青色申告会]

「野幌商丁会]

[江別市市会議員]

[㈱北辰フーズ] [山サ煉化餅本舗株] [(株)マルマツ]

[浜塚製菓㈱常務] 「街山下館サンタクリーム] [㈱菊水]

「米澤煉瓦㈱] [㈱町村牧場]

[㈱札栄管機]

[江別市・農家の方々] [江別市・一般市民の方]

渋谷様、宮崎 川保 義明様、 [札幌市·危機管理対策室]

[札幌市教育委員会] [サンピアザ水族館]

[さっぽろテレビ塔]

[北海道開拓の村] [石屋製菓㈱]

[旭川市役所] [北海道]

